

香川県のがんの現状

(1) 生活習慣病におけるがんの状況

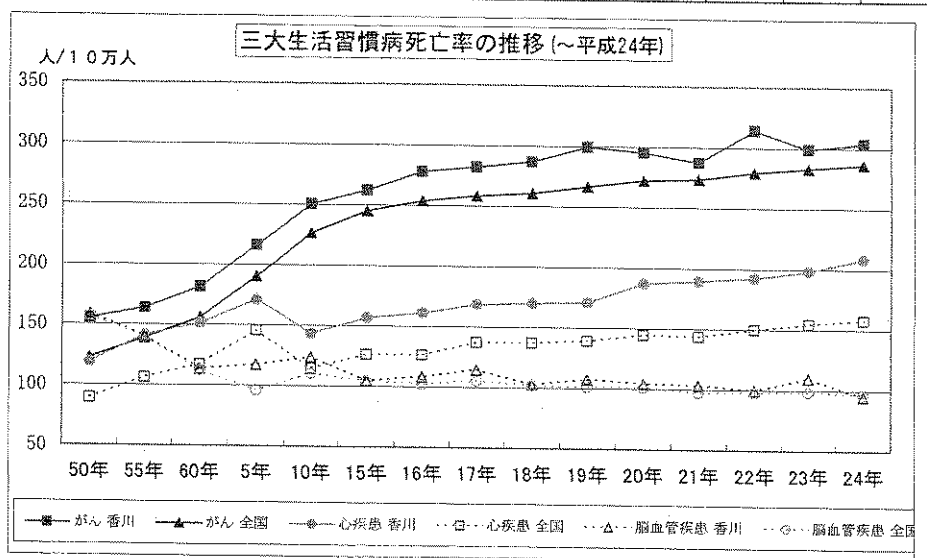
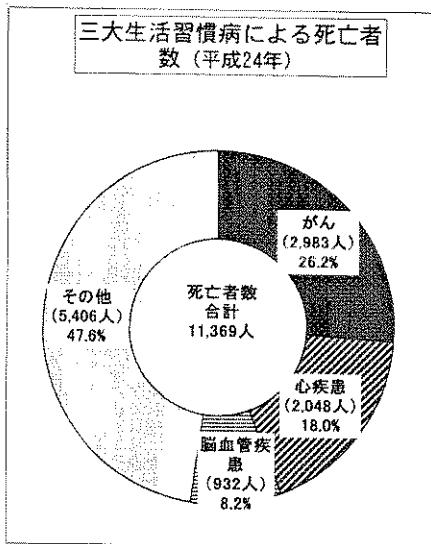
- ・香川県の平成24年の全死亡者数は11,369人であった。
- ・死因の1位はがん2,983人(26.2%)、2位は心疾患2,048人(18.0%)、3位は肺炎935人(8.2%)、4位は脳血管疾患932人(8.2%)であった。
- ・50～70歳代では、三大生活習慣病による死亡が全死亡の6割を超えている。
- ・特に、50、60歳代では、がんによる死亡が全死亡の4割を超えている。

①生活習慣病による死亡者の推移(香川県)

区分	50年	55年	60年	5年	10年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
がん	1,492	1,619	1,878	2,212	2,569	2,660	2,815	2,841	2,879	2,993	2,942	2,852	3,109	2,947	2,983
心疾患	1,144	1,396	1,565	1,750	1,470	1,590	1,631	1,698	1,704	1,711	1,867	1,882	1,903	1,953	2,048
脳血管疾患	1,525	1,386	1,174	1,199	1,270	1,064	1,095	1,153	1,031	1,075	1,038	1,025	986	1,079	932
全死亡数	7,312	7,418	7,516	8,603	9,104	9,556	9,709	10,265	10,241	10,428	10,645	10,639	11,064	11,316	11,369

②生活習慣病による死亡率の推移(香川県・全国)

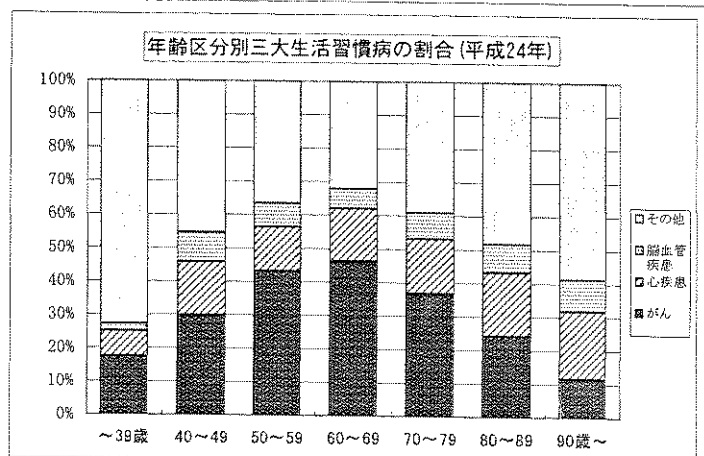
区分	50年	55年	60年	5年	10年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	
がん	香川	155.2	163.9	181.6	216.2	250.4	262.3	278.2	282.3	287.0	299.6	295.4	287.5	314.4	299.2	303.8
	全国	122.6	139.1	156.1	190.4	226.6	245.4	253.9	258.3	261.0	266.9	272.3	273.5	279.7	283.2	286.6
心疾患	香川	119.0	141.4	151.4	171.1	143.4	156.8	161.2	168.7	169.9	171.3	187.4	189.7	192.5	198.3	208.6
	全国	89.2	106.2	117.3	145.6	114.2	126.5	126.5	137.2	137.2	139.2	144.4	143.7	149.8	154.5	157.9
脳血管疾患	香川	158.6	140.4	113.5	117.2	123.7	104.9	108.2	114.6	102.8	107.6	104.2	103.3	99.7	109.5	94.9
	全国	156.7	139.5	112.2	96.0	110.0	104.7	102.3	105.3	101.7	100.8	100.9	97.2	97.7	98.2	96.5



③三大生活習慣病による年齢区分別死亡数と割合

(平成24年)
(単位:人)

区分	～39歳	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90歳～
死亡者数	184	181	394	1,174	2,118	4,369	2,949
がん	32 (17.4%)	54 (29.8%)	170 (43.1%)	544 (46.3%)	780 (36.8%)	1,059 (24.2%)	344 (11.7%)
心疾患	14 (7.6%)	29 (16.0%)	52 (13.2%)	184 (15.7%)	345 (16.3%)	831 (19.0%)	593 (20.1%)
脳血管疾患	4 (2.2%)	16 (8.8%)	28 (7.1%)	69 (5.9%)	164 (7.7%)	370 (8.5%)	281 (9.5%)
その他	134 (72.8%)	82 (45.4%)	144 (36.6%)	377 (32.1%)	829 (39.2%)	2,109 (48.3%)	1,731 (58.7%)



(2) 香川県のがんによる死亡の現状

- ・肺がんの死亡者数が、がん死亡の第1位となっている。
- ・胃がんは、近年、横ばいから減少傾向にあるが、依然死亡数の第2位を占めている。
- ・大腸がんは、近年、増加が著しい。

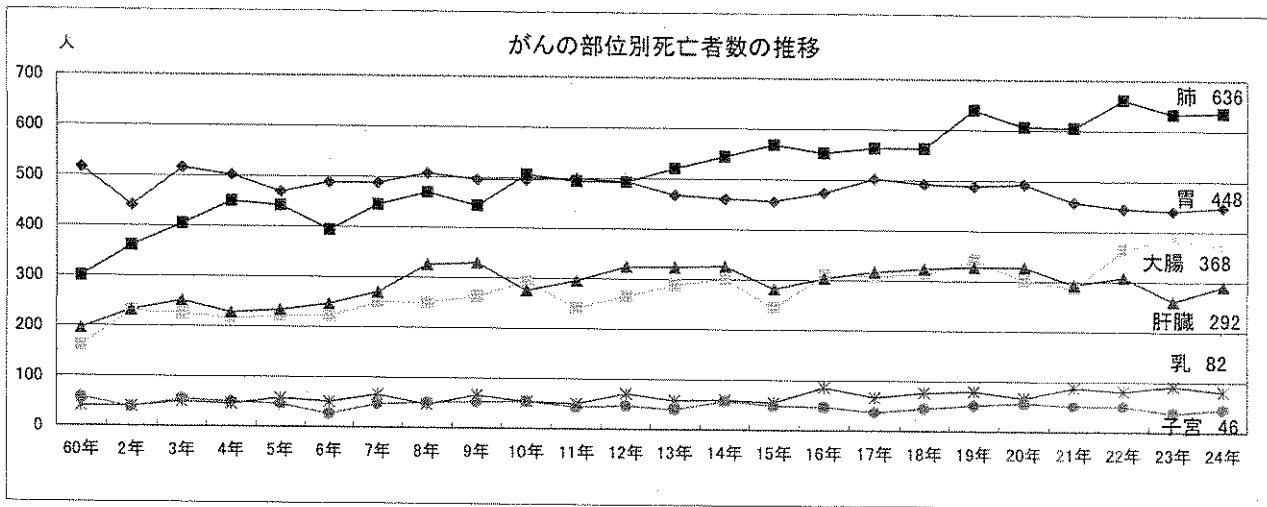
①がんの部位別死亡者数の推移(H24年)

区分	50年	55年	60年	5年	10年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
肺	178	241	300	442	507	569	553	563	563	640	607	605	661	633	636
胃	591	538	516	469	496	457	474	502	493	489	493	458	446	441	448
肝臓	107	164	196	234	276	282	304	317	324	328	328	294	309	261	292
大腸	112	131	160	221	293	244	310	309	312	342	302	287	365	386	368
乳	25	30	41	58	54	55	86	67	76	80	67	88	81	92	81
子宮	69	56	58	46	54	49	47	37	45	52	57	51	51	38	46

(単位：人)

(注)大腸は結腸と直腸S状結腸移行部を示す。
肺は気管・気管支及び肺を示す。

肝臓は肝及び肝内胆管を示す。
乳がんと子宮がんは女子の死亡数のみである。



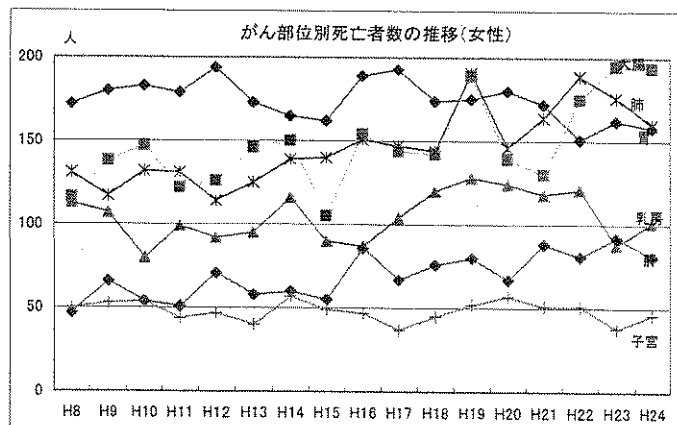
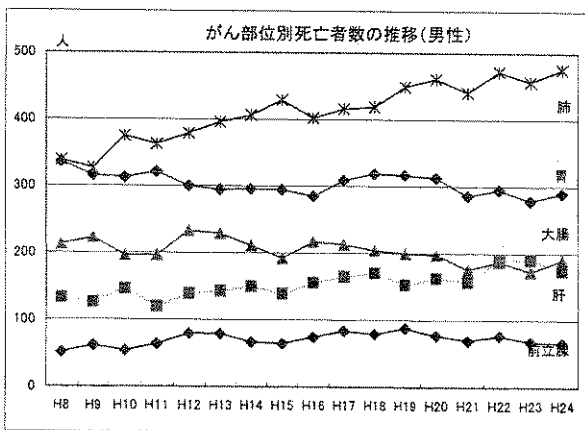
②がんの性別・部位別死亡者数の推移(H24年)

○男性

- ・肺がんが最も多く、胃がんが続いて多い。
- ・肺がん、大腸がんが、増加傾向にある。

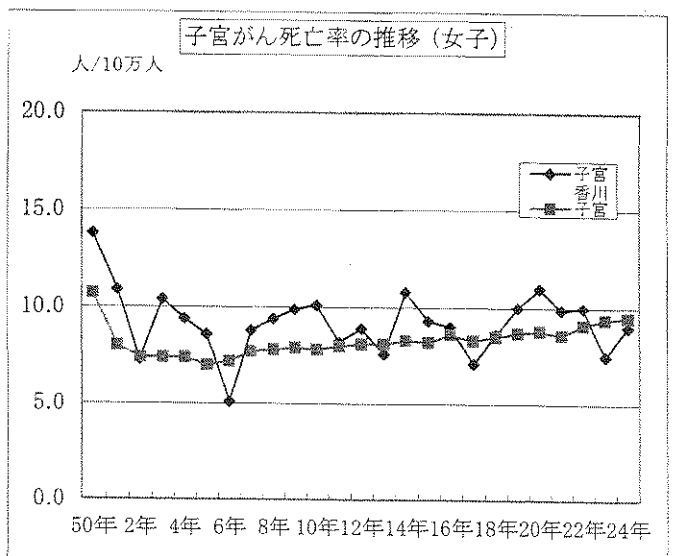
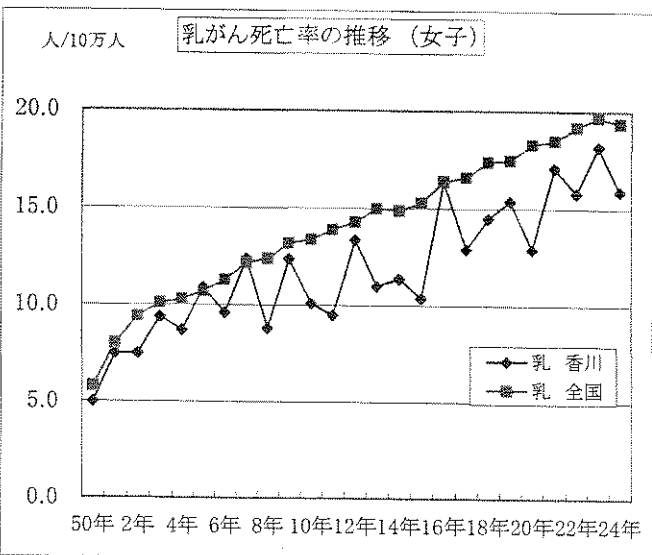
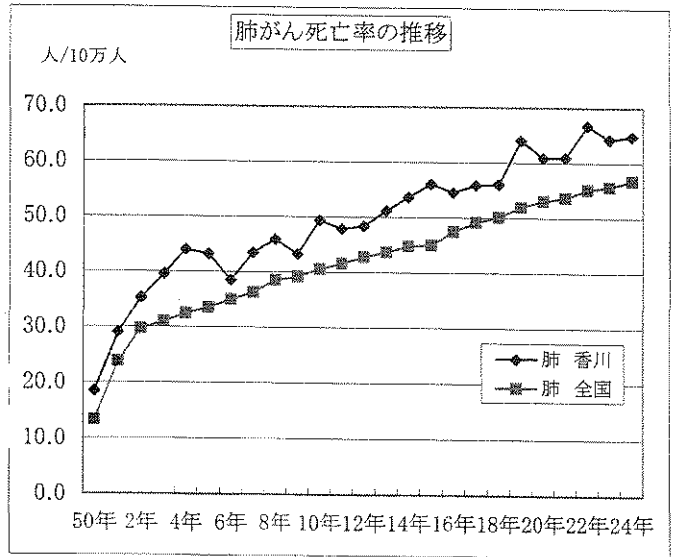
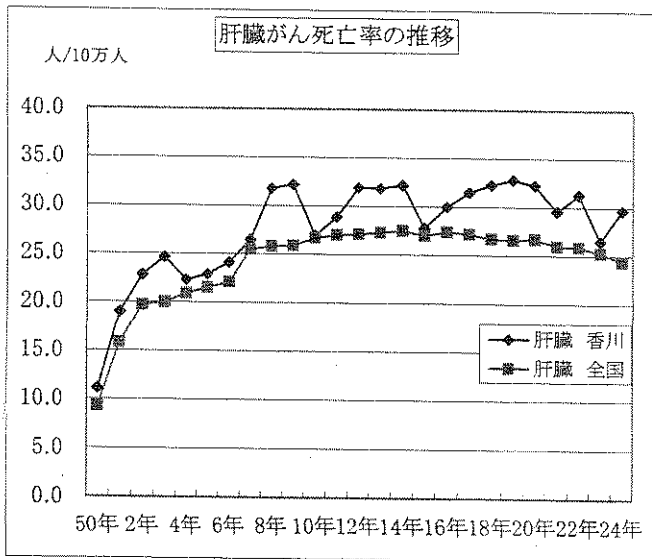
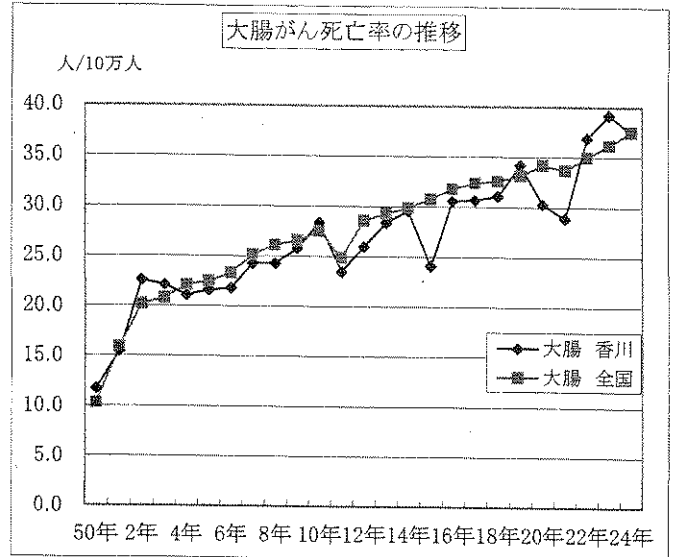
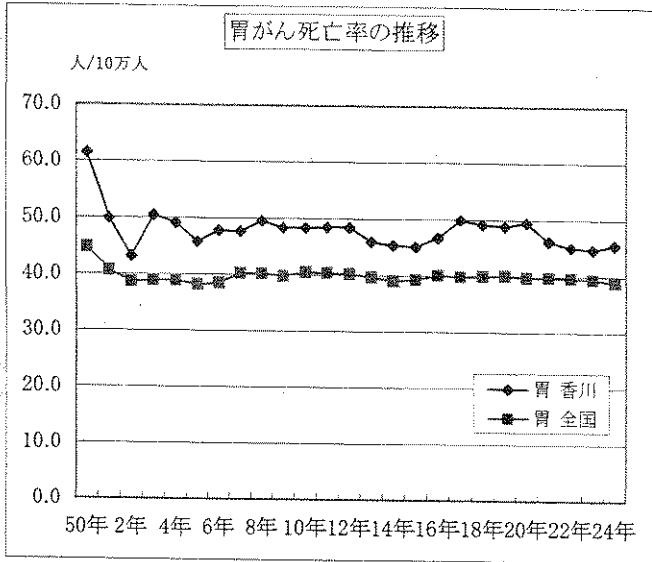
○女性

- ・大腸がんが最も多く、急増した。
- ・肺がん、乳がんは増加傾向にある。



③がんの部位別死亡率（人口10万対）の推移（～H24）

- ・胃がんは、横ばいから減少傾向にあるが、全国平均よりは高く推移している。
- ・大腸がんは、増加傾向にあり、近年、急増した。（H24は減少）H24は全国平均と同率。
- ・肝臓がんは、全国平均より高い値で推移している。（H23は急減したが、H24は増加）
- ・肺がんも、全国平均よりも高い値で推移しており、増加傾向である。
- ・乳がんは、全国平均よりは低いが、増加傾向である。
- ・子宮がんは、近年全国平均より高い値にあったが、H23は急減し、全国平均を下回っている。（H24は増加）



④総死亡に占めるがんの割合(H24)

- ・男性では60歳代が最も高く、4割を超えている。
- ・女性では50・60歳代高く、50歳代では死亡の半数以上を占めている。

(単位：人)

総死亡数	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	11,369	184	181	394	1,174	2,118	4,369	2,949
	男	5,697	124	123	282	820	1,323	2,145	880
女	5,672	60	58	112	354	795	2,224	2,069	

がん死亡数	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	2,983	32	54	170	544	780	1,059	344
	男	1,751	13	32	107	374	518	576	131
女	1,232	19	22	63	170	262	483	213	

総死亡に占めるがんの割合	性別	総数	0～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳～
	男女計	26.2%	17.4%	29.8%	43.1%	46.3%	36.8%	24.2%	11.7%
	男	30.7%	10.5%	26.0%	37.9%	45.6%	39.2%	26.9%	14.9%
女	21.7%	31.7%	37.9%	56.3%	48.0%	33.0%	21.7%	10.3%	

総死亡に占めるがんの割合(平成24年)

■男 ■女

